

平成20年度主な行事予定

日程	行事・処理案件内容	
4月	4/7(月)	専門学校入学式
	4/9(水)-4/12(土)	国際ウエルディングショー(大阪)
	~4/E	H19年度決算報告(案)の作成
5月	5/9(金)	定期常任理事会
	5/16(金)	総会(理事会・評議員会)、溶交会
6月	6/15	日溶セガイド発行
	未定(~6/E)	(予測)専門学校の監査(県学事課)
	6/13(金)	神奈川県溶接技能コンクール
8月	8/8(金)	共済会行事
	8/9(土)-8/17(日)	夏期休暇
9月	9/15	日溶セガイド発行
10月	10/1頃	日溶セ40周年(H21.7)記念事業準備WGの立ち上げ
	中旬	共済会行事
11月	~11/E	定期常任理事会
12月	12/15	日溶セガイド発行
	12/12(金)、12/26(金)	共済会行事(忘年会、ご用納め)
2月	~2/E	H21年度事業方針の策定
3月	~3/中旬	H21年度事業報告(案)、H21年度事業計画(案)の作成
	同上	H21年度予算(案)の作成
	3/15	日溶セガイド発行(原稿締め切り3/初旬)
	3月中旬	理事会開催案内発送(理事、評議員の見直し)
	3月中旬	専門学校卒業式
3月中旬	H21年オートアフターマーケット展への出展	

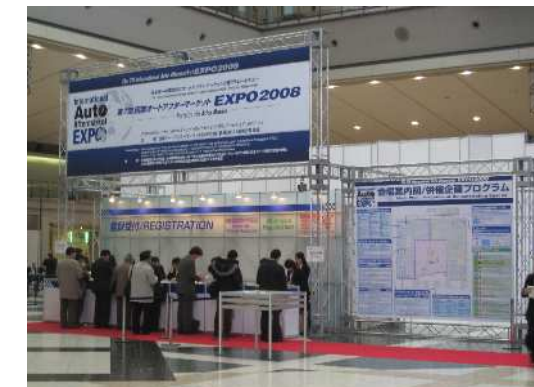
発行所 財団法人 日本溶接技術センター
〒210-0001
川崎市川崎区本町2-11-19
Tel 044-222-4102
Fax 044-233-7976
URL <http://www.jwsc.or.jp/w.htm>

日溶セがいと

第11号

第11号の主な内容

- 1、オートアフターマーケット出展写真
- 2、専門学校部門の問題点と対策
- 3、試験・検査・研究部門の現状
(1)、業務内容
(2)、問題点と対策
- 4、平成20年度の主な行事予定



入場口



車体高張力銅板化の補修溶接課題に関するセミナー



(財)日本溶接技術センターのブース

オートアフターマーケットに関する写真

専門学校部門

この3月、20名が無事卒業しました。卒業後の進路は、自営溶接業2名、自営鉄工業4名、鉄工業1名、自営機器加工業2名、機器加工業10名、専攻科(後述)進学1名でありました。大手企業への就職者が多い結果になりました。

当校の最大の問題点は少子化等の影響で、学生数が減少していることですが、次の対策に着手いたしました。



卒業式写真

(1) 企業奨学金の斡旋

地方からの学生にとって、生活費も含め1年間250万円程度の費用が必要となります。これは一般のサラリーマンにとっては大変な負担となります。当校には松尾・稲垣奨学金(最大5万円/月)という制度がありますが、奨学金としては不足といえます。そこで企業奨学金の導入を進めています。企業奨学金とは、入学希望の学生に企業からの返済不要(その会社に入社した場合)の奨学金を受け、学費負担を軽減するものです。現在鉄骨加工業、検査会社等から企業奨学金制度の受け入れ希望があります。今後、より広い範囲の企業からの申し込みを期待しています。

(2) 専攻科の新設

社会での活動のためには多くの資格が必要となり、当校の学生も10種近い資格を取得しなければなりません。ただし、受験資格については、当校の学生が優遇されているものもありますが、年齢制限がある資格もあります。特に高等学校、工業高校出身者は1歳の差で受験できない資格があります。そこで2年制学科卒業者に限り、半期毎に専攻科に残った者に対しこれら高次資格取得を支援することとしました。半期20万円が必要な授業を受講し、机・ロッカー等は学生同様の扱いにします。アルバイトをしながら仕送りなく資格を取得できるメリットがあります。

(3) 学校案内の改定

従来の学校案内パンフレットを改定しました。若い人を対象とすることから、学生に学校案内パンフレットの作成を依頼しました。その結果、非常に明るく親しみやすい学校案内パンフレットが出来上がりました。



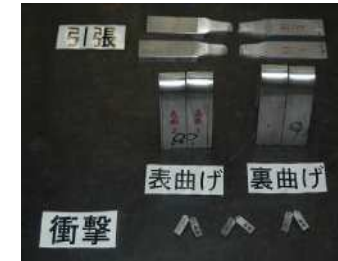
新しい学校案内パンフレット

試験・検査・研究部門

当センターの試験・検査・研究部門は、中立的の公益機関として、高い信頼を得ており、各企業より金属材料の材質評価、溶接継手部の品質評価及び構造物の破壊事故の調査等を行っております。

1. 具体的業務の内容

- (1) 確認試験及び評価
 - 溶接施工法確認試験
 - 溶接技量確認試験(AW検定)
 - 材料・継手性能品質評価
- (2) 各種試験業務
 - 機械試験
 - 引張試験
 - 曲げ試験
 - シャルピー衝撃試験
 - 硬さ試験
- (3) 技術相談・調査・研究
 - 材料・溶接に関する技術アドバイス
 - 試験・検査方法に関する調査・研究
 - 事故原因の調査
- (4) 非破壊試験
 - X線透過試験
 - 磁粉探傷試験
 - 超音波探傷試験
 - 浸透探傷試験
- (5) 教育用試験体の販売
 - 溶接ビード外観編
 - 溶接欠陥の断面マクロ編
 - 溶接継手曲げ試験編



試験片



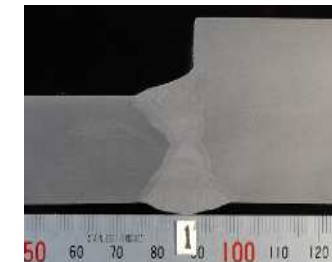
曲げ試験



シャルピー衝撃試験



引張り試験



マクロ試験片



教育用試験体(マクロ編)

2. 平成19年度の活動状況と平成20年の展望

平成19年度は、AW検定試験の減少もあり、当初は見通しの 暗い出だしてはありましたが、後半は橋梁等の確認試験依頼が伸びたこと、10月に単価改定を行い、現状は順調に推移しています。

平成20年度は、企業より要望もある出張非破壊試験業務も実施できるよう体制を整備していきたいと考えています。